

リフォームモードの既存図を計画図で使用方法

文書管理番号：1196-01

Q. 質問

リフォームモードで入力したリフォーム前の間取りを、計画図で使いたい。

A. 回答

リフォームモードの計画図には、既存図で入力した内容を読み込む「既存図読込」や、既存図で入力した内容を下図として表示する「既存図下図」があります。

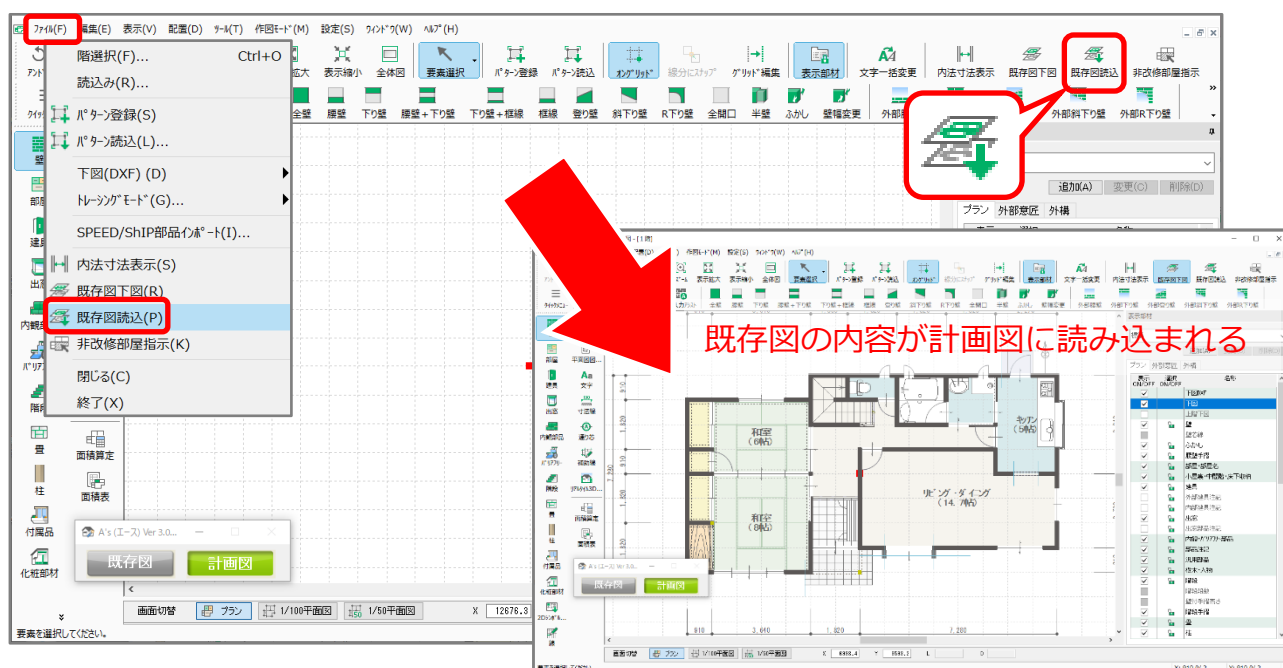
操作内容に応じていずれかの方法を使用し、既存図で入力した内容を計画図で利用することができます。

既存図読込

既存図で入力している内容を読み込み、既存図を元に編集作業を行いたい場合、 (既存図読込) を使用します。

計画図の  (プラン図) で、 (既存図読込) をクリックし、表示されるメッセージを確認後、「はい」をクリックすると、既存図で入力済のアプリケーションの内容が計画図に読み込まれます（既存図と計画図が同じ状態になります）。

「ファイル」⇒「既存図読込」をクリックしてもかまいません。



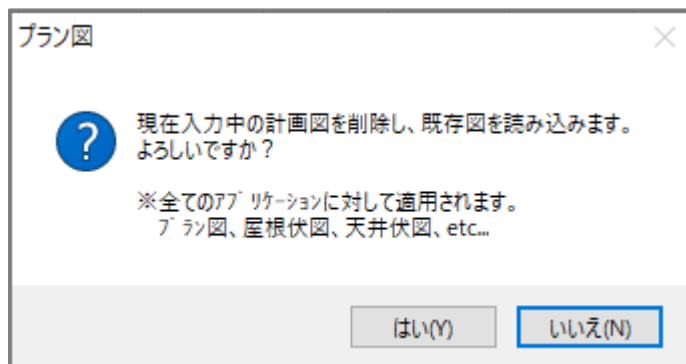
既存図の一部をリフォームする場合、入力作業が軽減され便利です。

「既存図読込」後、各アプリケーションで編集作業を行ってください。

【注意】

「既存図読込」を行うと、既存図で入力済のアプリケーションの内容が読み込まれます。なお、都度計算がかかるアプリケーション（日影図）は対象外です。

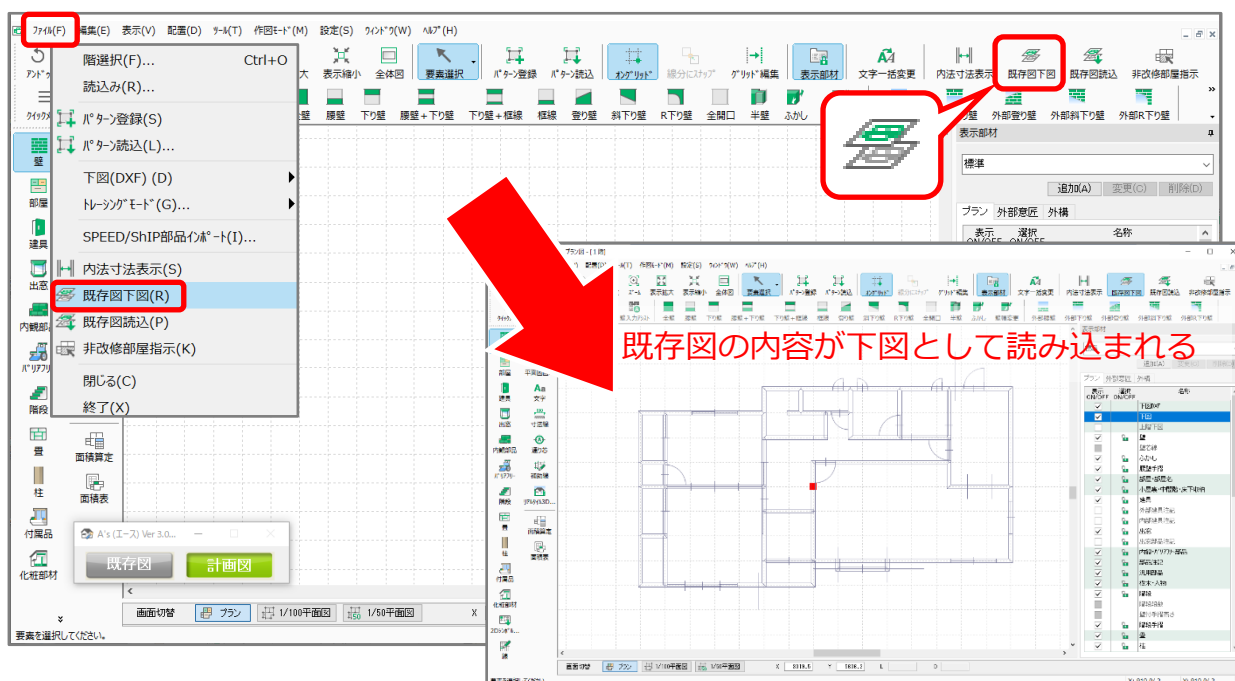
既に計画図を入力している場合は、入力済の計画図の内容は破棄され、既存図の内容に置き換わります。



既存図下図

既存図のプランを下図として利用し、計画図の入力作業を行う場合、 (既存図下図)を使用します。プラン図に、既存図の内容が下図として表示されます。

「ファイル」⇒「既存図下図」をクリックしてもかまいません。



既存図のプランを下図に利用して、新たにプランの入力を行う場合に便利です。

計画図のプラン図に、既存図のプラン図の内容が下図として表示されます。プラン図以外のアプリケーションのデータは読み込まれません。

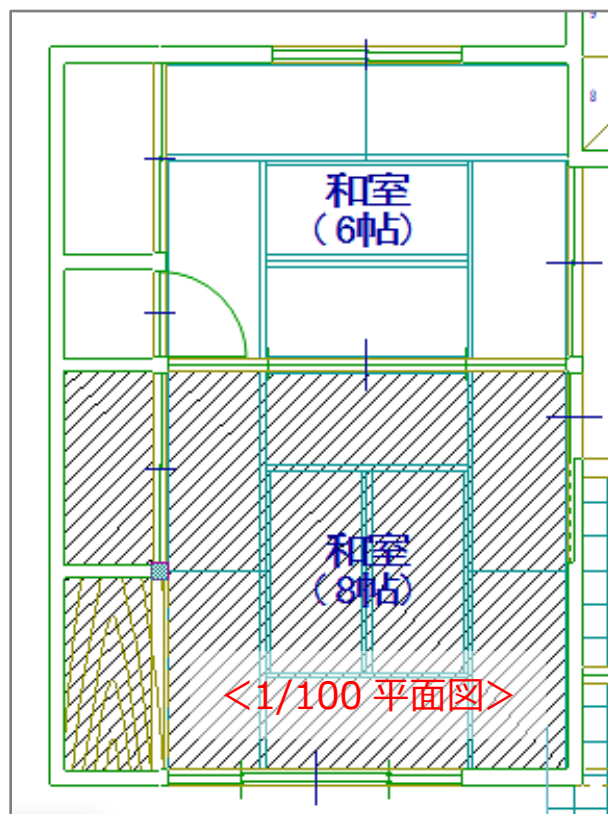
プラン図を入力後、各アプリケーションで入力作業を行ってください。

参考：非改修部屋指示

計画図のプラン図で、 (非改修部屋指示)をクリック後、改修しない部屋をクリックすると、クリックした部屋がグレー表示になり、改修する部屋を分かりやすくすることができます。

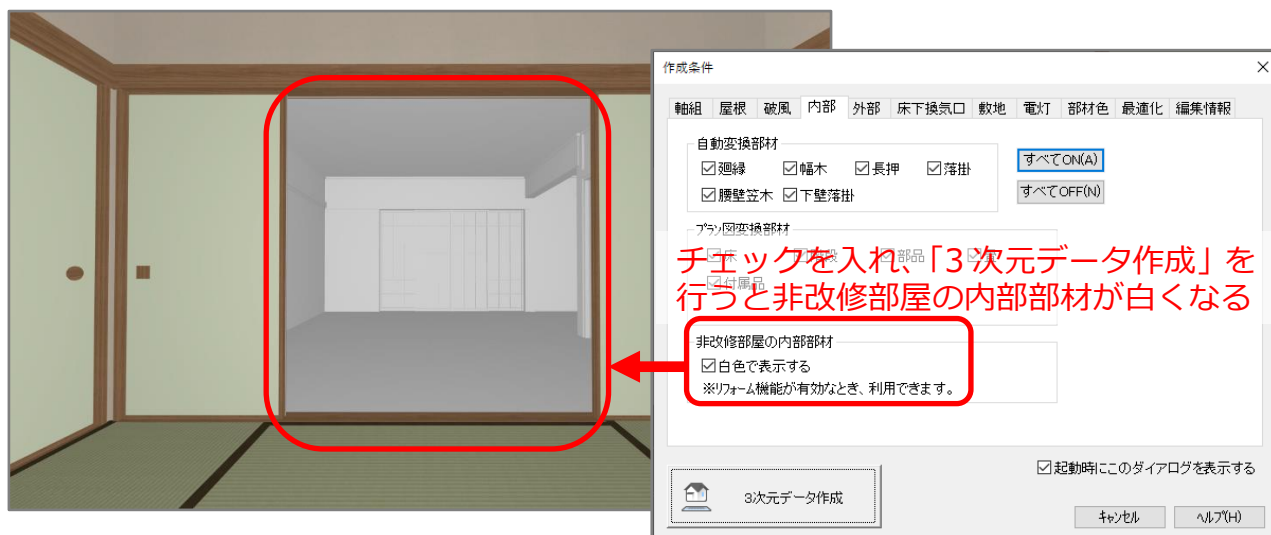


非改修部屋に設定した区画は、プラン表示や画像出力ではグレーになり、1/100 平面図や 1/50 平面図では斜線ハッチングが施されます。



 (3D パース)や  (鳥瞰図)では、 (作成条件)の「内部」タブに、非改修部屋の内部部材を「白色で表示する」設定があります。

「白色で表示する」にチェックが入っている場合、3D パースや鳥瞰図では非改修部屋の内部部材が白色で表示されます。



【参考】既存物件の場合

プラン図などを入力後に  (物件概要)でリフォーム機能を有効にした場合、既存図と計画図の各アプリケーションの内容が同じ状態（既存図読込を実行した状態）になります。